

令和3年度滑川市地域公共交通会議 会議録

開催概要

- 日時 令和4年3月24日(水) 午後2時00分～午後3時20分
- 場所 滑川市役所東別館3階大会議室
- 出席者 委員15名

出席状況

委員名簿

選出区分	団体名		役職名	氏名	
学識経験者			富山国際大学 名誉教授	長尾 治明	
住民又は利用者の代表	滑川市自治会連 合会		会長	澤田 隆之	
住民又は利用者の代表	悠友クラブ滑川		会長	柿澤 清喜	
住民又は利用者の代表	滑川市小中学校 PTA連合会		副会長	小林 義明	欠席
住民又は利用者の代表	滑川市民生・児 童委員協議会		会長	砂子 良治	
住民又は利用者の代表	滑川市連合婦人 会		会長	原 洋子	
住民又は利用者の代表	滑川商工会議所		専務理事	杉田 隆之	
一般乗合旅客自動車運 送事業者の代表者	富山地方鉄道株 式会社	自動車部運行管 理課	課長代理	大野木 貴吉	欠席
一般貸切(乗用)旅客自 動車運送事業者の代表 者	株式会社佐々井 タクシー		代表取締役	高川 妙子	代理 出席
一般旅客自動車運送事 業者の事業用自動車の 運転者が組織する団体 の代表者	富山県交通運輸 産業労働組合協 議会		議長	石橋 剛	
鉄道事業者の代表者	あいの風とやま 鉄道株式会社	総務企画部企画 課	課長	福田 聡浩	
鉄道事業者の代表者	富山地方鉄道株 式会社	鉄軌道部運転管 理課	課長	伊東 信男	
国土交通省北陸信越運 輸局富山運輸支局長又 はその指名する者	北陸信越運輸局 富山運輸支局	首席運輸企画専 門官(輸送・監査 担当)		鴻島 純	
国土交通省北陸信越運 輸局富山運輸支局長又 はその指名する者	北陸信越運輸局 富山運輸支局	首席運輸企画専 門官(企画調整 担当)		伊藤 健一	欠席
富山県滑川警察署の職 員	滑川警察署地域 交通課		課長代理	若林 修	
富山県の職員	富山県観光・交 通振興局総合交 通政策室		次長	有田 翔伍	代理 出席
富山県の職員	富山県新川土木 センター		工務第一課長	岩井 光彦	
滑川市の職員	滑川市副市長				
滑川市の職員	滑川市産業民生 部長			網谷 卓朗	

事務局

産業民生部生活環境課 石坂課長、小善係長、志鷹係長

会 議 次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 座長あいさつ
- 4 報告事項
 - ・ 令和3年度滑川市コミュニティバス(のる my car)運行状況について
- 5 協議事項
 - (1) 令和4年度滑川市コミュニティバス(のる my car)運行計画について
 - (2) 自由乗降区間の設定について
 - (3) 滑川市地域公共交通計画の作成について
滑川市地域公共交通会議設置要綱の一部改正について
- 6 閉 会

会 議 録

1 開会

【事務局】

ただいまより、「令和3年度滑川市地域公共交通会議」を開催いたします。皆様には何かとお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。本日司会を務めさせていただきます、生活環境課の石坂です。よろしく願いいたします。

本日の会議は、小林委員、伊藤委員及び大野木委員がご都合により欠席されています。

～資料確認～

それでは、本会議の会長代理であります、網谷産業民生部長がご挨拶いたします。

2 会長代理あいさつ

～網谷会長代理あいさつ～

【事務局】

本会議の座長につきましては、例年どおり、長尾委員にお願いしたいと思っておりますので、委員の皆様のご了承を賜りたいと思っております。

この後の会議の進行については、長尾委員へお願いしたいと存じます。

3 座長あいさつ

【長尾座長】

皆様のご協力を得て、円滑に議事を進行させていただきたいと思っております。

今日は、次第にもあるように、本年度の運行状況や来年度の運行計画について事務局から説明を受け、意見交換をお願いしたいと思っております。

今ほど、会長代理からも現状に関してコメントがありましたが、より多くの人に利用していただくためにも、活発なご意見をお伺いしたいと思います。

それでは、お手元の次第にしたがって進めさせていただきます。

まず、次第の4、報告事項「令和3年度滑川市コミュニティバス(のる my car)運行状況について」事務局から説明願います。

4 報告事項

【事務局】

- ・ 令和3年度滑川市コミュニティバス(のる my car)運行状況について
～ 事務局説明 ～

【長尾座長】

ありがとうございました。では、ただいまの事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等があればよろしくお願ひいたします。

【岩井委員（代理出席）】

高校生へのアンケート回答欄の一番上、設問1のところ、市内に住んでおられて、市内に通学している方もいらっしゃると思うのですが、この内訳ではそういった方はおられないのでしょうか。

【事務局】

設問の設定の中で、市内から市内への移動については、問うてはいませんでした。

【長尾座長】

実際にはおられた。ただアンケートに質問が出ていなかったから、答えられていないということでしょうか。

【事務局】

はい。そうです。

【長尾座長】

これは、4日間アンケートをやっておられて、アンケート用紙を重複して受け取った方はいらっしゃるのですか。この88人の回答の中で、重複回答というか、同一の学生が、2回とか3回とかアンケートに答えている、というのは無いのですか。

【事務局】

詳しくは集計をしていません。もしかすると重複した回答があり得るかもしれません。

【長尾座長】

自由回答にコミュニティバス「のる my car」の存在を知らない、という回答がありましたけど、これはほんとうにごく一部の生徒、という感じで認識しておいでよろしいでしょうか。

【事務局】

そうであって欲しいと、事務局からは願うところです。

【長尾座長】

アンケートの中で、今後の対策を考える場合に、時間が合わないという回答が半分近く占めているので、どういう時間帯であれば、乗っていいのかなという時間帯を今後調べてみる必要があるのではないかな、と思ったのですが、そのあたりはいかがでしょうか。行き帰りの時間が合わない、というので48%、約半数を占めているので。まちまちだと思うんですけど、高校の場合はやはり1時限目とか大体決まっているので、その時間帯が、どのような時間帯か、ということも今後利用客を増やすために調べられたらどうかなと思ったのですが、それについてはいかがでしょうか。

【事務局】

コミュニティバス「のる my car」は朝の時間帯につきましては、あいの風とやま鉄道の富山行、魚津行への接続、ということを中心には考えて運行をしております。但し座長がおっしゃられたとおり、学生さんの利用等の調査についても、今後の検討課題の一つとして取り組んでいかなければならないかなと思っております。

【長尾座長】

できれば、実態を調べて、今後の時刻表の参考になればと思っております。ぜひ今後の課題にしていただければ、と思います。

5 協議事項

【事務局】

(1) 令和4年度滑川市コミュニティバス(のる my car)運行計画(案)について
～ 事務局説明 ～

【長尾座長】

ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等があればよろしくお願いいいたします。

【福田委員】

運行ダイヤの関係で話がありましたが、滑川駅等ご配慮いただいている、ということで感謝申し上げます。新富山口駅が、富山駅から東富山駅間で建設され、列車が停まる関係で2分ほどダイヤが変更になっています。そのあたりは、ご配慮いただいたダイヤ設定になっている、という理解でよろしいでしょうか。

【事務局】

3月12日に改正されましたあいの風とやま鉄道の時刻表を入手しまして、現行のコミュニティバス「のる my car」のダイヤと付け合わせをさせていただきまして、現在のダイヤでも運行ができる、ということで現行どおり、という判断といたしております。

【福田委員】

滑川駅での乗り継ぎというのは何分くらいですか。

【事務局】

朝の1便等なのですが、乗り継ぎ時間は、滑川駅南口につきましては、蓑輪及び栗山ルートがそれぞれ7時17分着。その他のルートにつきましては、7時31分、32分着となっております。計算しますと富山方面に向かうものについては、最大で12分間の待ち時間がございます。魚津方面につきましては、最短で10分の待ち時間なのですが、最大で37分の待ち時間が設定されております。

【鴻島委員】

ダイヤ改正については、6月1日からということで、停留所の移設については、「中滑川駅前」が6月1日から、ということがわかったのですが、「栃山」・「中加積駅口」はいつからなのでしょうか。

【事務局】

事務局の判断なのですが、若干の移動であるため、もしこの協議において承認いただけるようであれば、なるべく早いうちに、6月1日以前に移設を完了したい、と考えております。

【鴻島委員】

手続き的な話なのですが、「中滑川駅前」、こちらは経路が若干変わりますので、道路運送法上の変更届の手続き及びフィーダー補助の関係で事前届出が必要になりますので、6月1日から、ということなので、富山運輸支局の担当と相談して確実に届出事項をお願いします。

【事務局】

かしこまりました。

【杉田委員】

今ほどの説明の中で、コロナ禍のためにこういった旅客事業は大変厳しい状況にあると思うのですが、利用者の立場からすればなんとか踏ん張っていただいて、この危機を乗り越えていただきたい、ということが第1点でございます。

その中でですね、先程の説明の中で、使用車両。最近No.5ですか、シルバー、これを入れられた、ということですが、他の自治体でジャンボタクシーのようなワゴンタイプの車両を使っておられるところがたくさんありますけれど、その選択肢が無い、ということなのですが、その理由があればぜひお聞かせください。

【事務局】

新車両なのですが、ルートといたしまして「小森ルート」というところに配車をさせていただきまして、走行しております。こちら「小森ルート」なのですが、瞬間最大の乗客数のほうが、1台の車両に乗り切らない、という情報がありましたので……。バスの車両の小型化、というのも我々としては検討課題の一つ、としているところなのですが、瞬間最大の乗客の方を、乗りこぼし無く、と考え、乗車人員を考慮いたしましたところ、このサイズのバスにならざるを得なかった、というところがございます。

【杉田委員】

私達が見るときは、車内での空席が目立つので、何かもったいないような気もしますし、そういった少し小さい車両がいくつかあれば、日中とか夕方、朝晩、時間帯を照らしあわせて、使いわけもできるんじゃないか、という素朴な疑問で質問したわけです。

【長尾座長】

「小森ルート」が乗車人数が多くなるときもあって、その頻度とか、何か偵察的な資料とかある程度備えておられますか。「小森ルート」の乗車が、車両の乗車人員を超える、というのが月に何回かとか。これから何か調べられて、今提案のジャンボタクシーではだめかとか、臨時的な予備車もあるので、その活用方法も考えられたらどうかなと思います。実態のほうはどうなっているか、もう一度調べられたらどうかなと思います。雨の日とかそういう日は多いのかもしれない。風の強い日など、天候の悪いときは利用客が多い。高校生へのアンケートにおいても、回答割合が高かったと思うので。そういう天候との関係で、「小森ルート」、定員枠を超えるような機会がどの程度揃っているか、調べられたらどうかなと思います。

【事務局】

今ほどの御意見に対してでございますけれども、今回の新車両を導入する際に、今までの乗車人数の実績等を踏まえまして、先程も申しましたけれども、瞬間的ではありませんけれども、人数が小型マイクロバス、ワンボックスではとても乗り切れない、ということもあわせて、同じようなサイズのバスを入れさせていただいたわけではあります。ただ、今後につきましては、会長代理のほうから冒頭の挨拶でもありましたけれども、令和4年度に地域公共交通計画を策定するにあたりまして、当然現行のルート等も見直す形にはなると思います。その際には、バスの小型化、車両の小型化、そういったものを踏まえた上で、策定をしていきたいというふうには考えてございます。

【長尾座長】

今後の課題として考えていただければ、と思います。

【柿澤委員】

細かい話でございますけれども、高校生へのアンケートについて、おもしろいなと思ってお聞きしているんですが、このルートからしますと、高校生——滑川高校の前にピタッとバスが停まらないんですよ。ほんのちょっとルートを曲げるだけで、高校の正門前に停めてあげるとまた違うのかなと。例えば滑川駅発が、雪嶋神社を過ぎ、高校の正門前に寄って、また領家町のほうに抜けていくと。そんなふうにして行けば、結構駅から短いですから、10何分で行けるわけなんですけれども。それから帰りも高校前から乗れば、15、16分で滑川駅に行けるわけですし、時間的な配分にしましても授業の開始時間と終わり時間にあっているかなと。ちょっと気がつきましたもので。それともう1点は、これはちょっと無理なんでしょうけれども、滑川高校の場合は水橋から通っている生徒も結構いるんじゃないかなと思います。昔からですけども。そういう点から、他の市町村のほうへちょっと入り込むできないかと。例えば魚津市の水族館前まで入り込んでいるわけですけども。同じように水橋からも。アンケートの回答の中にもそのようなことがありましたから。

【長尾委員】

いかがでしょうか。今後の課題として検討していただければ、と思うのですが。

【事務局】

ルートにつきましては、現在のルートがほぼ完成形に近い、ということなんですけど、今後、現行の交通形態が現在の形ではないものとして、運行していく、ということにあたっては、こういったことも検討課題の一つとして取り組んでいかなければならないかなと考えております。

【長尾委員】

今後の課題として考えていただければ、と思います。

【鴻島委員】

先程の話で、言い忘れて、「栃山」と「中加積駅口」のバス停が移設の時期がまだ決まっていないと仰っていたと思うのですが、バス停は利用者にとっては、動かされると、バス停はどこに行った、となる。事前に日にちを決めて動かす前に周知をお願いしたいと思います。

それと、予備車の話は手続き的には届出が必要ですので、こちらも忘れずにお願い

します。

【事務局】

バス停の移設につきましては、関係町内会長に、こういった移設があります、とイメージ図として配布させていただきまして、その後町内会のほうで回覧をお願いする、という形にはなっておりますので、地域住民の方には一旦は周知させていただきまして、一つ言われたのは、あったところからバス停が無くなると、あれ？どうして？という話になるので、今まであったところにバリケードか何かに案内紙により、移設しました、という案内をお願いします、と言われてはいます。

【鴻島委員】

バス停にいつから動かしますよ、と貼っておいてください。

6 協議事項

【事務局】

(2)自由乗降区間の設定について

～ 事務局説明 ～

【長尾座長】

ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等があればよろしくお願ひいたします。

【伊東委員】

車内転倒というのがありまして、走行中にお客様が立たれて転倒されると。降車時というのは、いつお客様から承るのでしょうか。

【事務局】

具体的にどのタイミングというのは、これから詰めていきたいとは考えておりますけれども、まずは安全を第一に考えますと乗車した際に、一番いいのかな、とは思っております。詳細について、ドライバーさんとコミュニケーションが必要になってくるかと思っておりますので、バスが他の停留所等で停車している際、バスが動いていないタイミングというのが前提と考えております。詳細についてはこれからまた詰めていきたいと考えております。

【長尾座長】

6月1日から実施予定になっているのですが、事務局の腹積もりとしての具体的な日程はいつ頃を考えておられるのでしょうか。

【事務局】

6月1日をスタートとしたい、と考えております。

【長尾座長】

かなり事前説明が、乗り方とか、チラシ作成及びホームページ等の告知で共有していかなければならない部分——そのへんの準備をしっかりと考えてもらいたいと思っている。そのあたりの情報発信の点において。

【事務局】

今後は市の広報への折り込みであったりとか、ケーブルテレビでの広報であったり、あとはバスの車内での掲示をすることで広く周知に努めてまいりたいと考えております。

【長尾座長】

ぜひ告知のほうは、しっかりとお願いできればと思います。

【原委員】

キラリンバスが通ったら、孫と一緒によく手を振ったりするんですよね。それがちょっと危ない、ということになりましたね。何か運転手さんに大体乗る人がわかっておられるから、多分スルーしていつてもらえると思うけど。気をつけていただかないと危ないかもしれない。

【事務局】

そういった点につきましても、周知徹底というのが必要かと思えます。ドライバーさんに対しても、どのような場合停まる、ということも事務局と連携を密にしながら、解決していきたいと考えています。

【長尾座長】

今後色んな課題とか問題点が出てくるかもしれませんが、いまの時点でわかっているような留意点とか注意点に関しては、極力説明或いは映像を使って知らせていくような努力をしていただければと思います。できたら老人会とか公民館とか、そういうような場所において、説明会をやることも一つの方法ではないかな、と思います。

【福田委員】

一つ疑問が、寺町ルートのところでは清寿荘前、赤浜及び堀江とかが入っていないのは、道路幅の関係？

【事務局】

こちらにつきましては、仰られるとおり、道路幅が非常に狭いということで、今回ルート設定区間から除かせていただきました。

【福田委員】

みのわ温泉までのルートにおいては、設定しない部分もある、ということでよろしいでしょうか。

【事務局】

はい。

7 協議事項

【事務局】

- (3) 滑川市地域公共交通計画の作成について及び滑川市地域公共交通会議設置要綱の一部改正について
- ～ 事務局説明 ～

【長尾座長】

ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等があればよろしくお願ひいたします。

～意見及び質問なし～

【長尾座長】

それでは本日事務局から提案いただきました、令和4年度滑川市コミュニティバス(のる my car)運行計画、自由乗降区間の設定について並びに滑川市地域公共交通計画の作成について及び滑川市地域公共交通会議設置要綱の一部改正につきまして、委員の皆様のご承認をいただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。

～ 異議なし ～

【長尾座長】

異議が無いようですので、令和4年度滑川市コミュニティバス(のる my car)運行計画、自由乗降区間の設定について並びに滑川市地域公共交通計画の作成について及び滑川市地域公共交通会議設置要綱の一部改正につきまして、委員の皆様にご承認いただいたということで、よろしくお願ひ申し上げます。

本日の協議事項は以上となります。ここで終了させていただきたいと思います。委員の皆様には、御協力いただきどうもありがとうございました。やはり乗降客数をどう増やして拡大していくか、ということが今後におきましても大きな課題となっていくしますので、各委員の温かいご支援を引き続きお願ひしたいと思います。

この後は事務局に進行をお願ひします。

6 閉会

【事務局】

長尾委員、ありがとうございました。また、委員の皆様には長時間にわたりご議論いただきありがとうございました。

以上を持ちまして、令和3年度滑川市地域公共交通会議を閉会いたします。

委員の皆様方には、今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。